

「玉山登山 — 台湾正名・制憲運動」

【主 旨】

◆今回登山する玉山(日本統治時代の名称は新高山)は、台湾における最高峰というだけでなく、東アジアにおいても第一位の高さを誇ります。また、原住民の「ブヌン族」および「鄒族」にとっての霊山でもあり、台湾における貴重な自然遺産、人類における大切な世界遺産ともいえます。

◆今回の企画の総招集人である李登輝前総統は、「新時代の台湾人とは、私は私でない私、つまり、自分が中国人でないことを徹底的に認識することで、初めて正真正銘の台湾国民になれる」と話しています。

本運動の目的は、玉山登山を通し、台湾人の国家に対するアイデンティティを一層深化させ、併せて「台湾正名・制憲運動」の盛り上がりを推進しようというものです。

◆全世界に“台湾の声”が届くよう、玉山の頂上において李登輝前総統が「台湾正名、憲法制定」の宣言を発表します。

◆海外の友人やメディアを招請し、「台湾正名・制憲運動」の支持を呼びかけます。

◆台湾において、エスニック問題は存在せず、国家としてのアイデンティティ問題だけが残されています。

また、いわゆる『中華民国憲法』の制定当時、台湾とは全く関係ありませんでした。台湾人の同意を全く得ていない『中華民国憲法』は、たび重なる憲法修正によって何とか台湾の現状に合うよう繕ってきましたが、もはやこれ以上修正できない状態に陥っています。

台湾を正常な国家とする唯一の方法は、「台湾正名・新憲法制定」するしかないので。

◆『中華民国』憲法の領土範囲には、すでに主権独立しているチベットと中華人民共和国が含まれているため、台湾は国際上の承認と支持は得ることが出来ません。

我が国は台湾であり、私たちが制定したいのは“台湾新憲法”であるということを全世界にはっきり訴えたいのです。

◆台湾は長きに渡って外来政権の統治を受けてきましたが、国際的に「台湾」という名称を正式使用したことは一度もありません。

台湾と中国は、全く別の国家です。しかし、“台湾という”自分の名前を堂々と使ってこそ、はじめて世界の支持と承認が得られるのです。

台湾は「CHINA(台湾の国号英語表記は“Republic of China”）」という国号を使っている限り、常に中国に対して台湾侵略や圧力の口実を与えることとなります。一刻も早く、中国と平和な関係を築き、恒久的な平和と安全を確保するためにも、「台湾正名・憲法制定」を達成することが必要なのです。